

実施日：5月6日(3・4校時)	
領 域：特別活動	
取組名：ネットいじめ防止プログラム～インターネット安全教室～	
対 象：5,6年生	実施場所：多目的室、5,6年教室
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットのよさや危険性を知り、利用するうえでのルールを破ると人を傷つける人権問題になることを理解する。 ・ 危険性やルールを認識することで、児童一人一人が自分の人権、他の人の人権を大切にし、実生活にいかせるようにする。 	
イ 指導内容(指導略案)や取組の概要 3校時 講師によるインターネット安全教室 4校時 担任による授業 1. ふだんの自分のインターネットの利用方法について紹介しあう。 2. ネットについて危険な事例を知る。 3. 危険性やルールを知り、何に気をつければいいのかを話し合う。 4. 感想をもつ。	
ウ 連携先：NPO法人企業教育研究会	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師を招き、事前に教師が研修を受けることで、専門性を高めたり学習のポイントを整理したりすることができた。【別紙3】 ・ 携帯所持率調査を事前に行い、児童の実態把握をし、NPO法人と連携し一緒に授業を行うことで児童にわかりやすくインターネットのよさや危険性を伝えることができるように努めた。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 児童の感想をもとに、児童に何を指導していかなければいけないのかを検討し、今後に生かしていく。	
カ 評価の方法 保護者への啓発プリント(児童の感想とともに)	
キ 成果 SNSのマナーやモラルを早くから学ぶことができ、トラブルの未然防止に役立つことが期待される。	
ク 課題 一度学習したからといって、すぐに実生活に活かすことができるかという点と難しい。また、スマホやケイタイによる新しい課題が出てくると思われるので、繰り返し使い方について考えていく機会を設ける必要がある。	

